

■ ステークホルダーの皆様へ

リコーグループは1936年の創業以来、革新的なテクノロジーに基づいた光学機器や画像機器などを通して、世の中にイノベーションをもたらし、お客様とともに成長してきました。その一方で、当社のビジネスを取り巻く環境は常に変わりつづけています。気候変動に端を発する環境問題、グローバル化の進展や新興国の経済成長、貧困や人権問題など、さまざまな課題が顕在化しています。

そのような状況の中で、私たちは創業の精神である「人を愛し、国を愛し、勤めを愛す」という「三愛精神」を基盤とし、「世の中の役に立つ新しい価値を生み出し、生活の質の向上と持続可能な社会づくりに責任を果たす」という使命を実現しなければならないと強く考えています。

時代が激しく変化する中で成長を遂げるためには、スピードとダイナミックさをもった変革が必要です。第19次中期経営計画(19次中計)の1年目である2018年3月期は、持続的成長にむけた最初のステージとして「リコー再起動」を掲げ、成長を阻害する過去の遺産・前例について聖域を設けず見直しました。「リコー挑戦」へとステップアップした2019年3月期は、基盤事業の収益力強化と新規事業の拡大を実現しました。19次中計最終年度にあたる2020年3月期は、回復してきた事業収益力をさらに向上させ、中計で掲げた目標を達成すべく、邁進いたします。

私たちは、全従業員が一丸となって向かうべき方向性として、お客様への提供価値メッセージを「EMPOWERING DIGITAL WORKPLACES」と定めています。「人々の“はたらく”をよりスマートに。」という想いを軸に、人のもつ個性をスマートに伸ばすとともに、オフィスから現場、社会へと価値提供の領域を広げ、事業活動を通じて、社会課題の解決に貢献していきます。

リコーグループは、「人々の想像力の結集で生み出された力が未来を変えていく」という想いを、タグライン「*imagine. change.*」に込め、世界約200の国・地域で事業を展開しています。これからも、お客様のご要望にお応えするとともに、それを超えたリコーグループならではの価値創造で、すべてのステークホルダーの皆様の期待に応えてまいります。

2019年9月



代表取締役
社長執行役員・CEO
山下 良則